

絶景のためのスタディ

Study for Zekkei

Yoi Kawakubo

2013-

作品ステイトメント /Work statement:

「絶景」は写真を取る者にとっては到達しがたい、究極の風景写真である。

それはすなわち、具体的な風景を扱う伝統的な写真技法においては、しばしば写真の具体性そのものが「絶景」から写真を遠ざけてしまう。

本作品ではカメラと大判カメラを持ってとある風景を撮影に行った。その際に、バイノーラル録音という、特殊なステレオ録音方法で、撮影の過程を録音し、撮影後にフィルムをその場の光に照らしてプリント不能な像にした。展示では鑑賞者は撮影機材とネガそのものを見ながら撮影時の詳細な音を聞く。

足音や吐息、カメラの操作音や周囲の風の音、海の音、自然の音、時にはガイガーカウンターなどの音が鑑賞者の心の中に像を結ぶことを試みた。



絶景のためのスタディ III

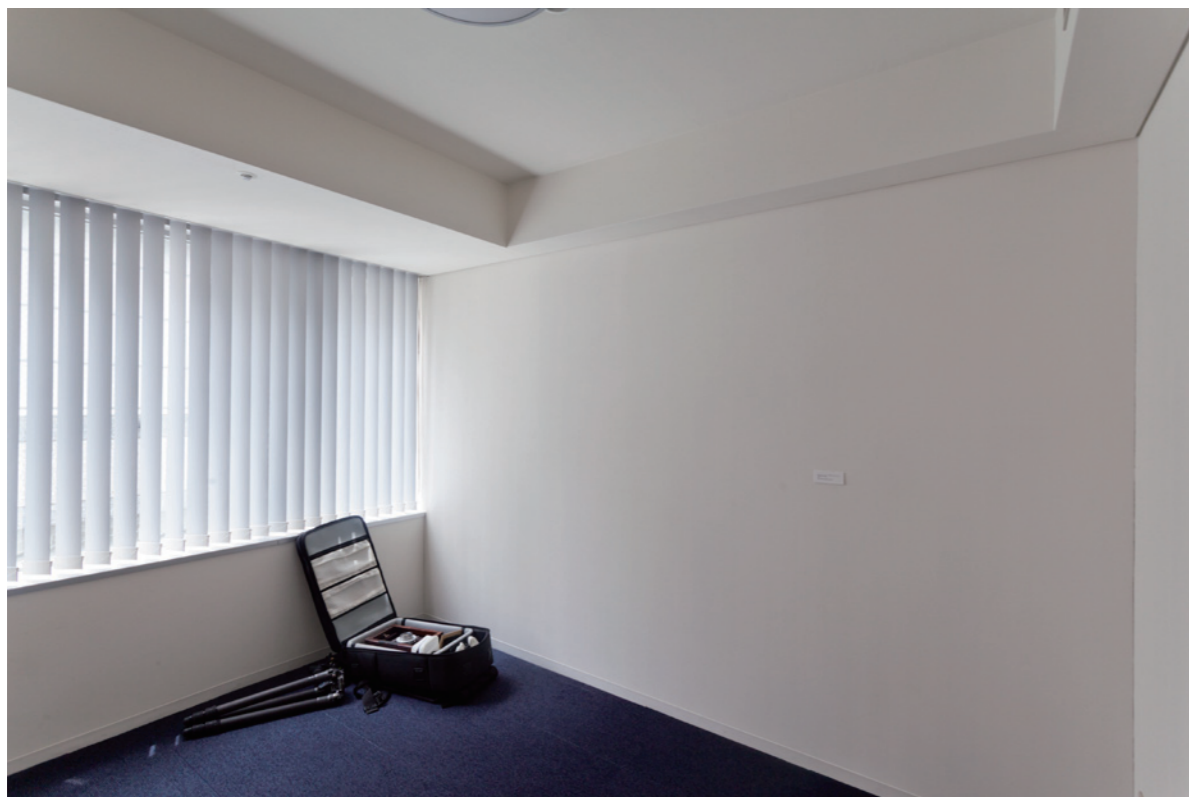
2013,

Two channel sound piece, 8min 46sec.

Sound installation: Noise cancelling headphones, sofa, hand written notes.

絶景のためのスタディ
II
2013,
Two channel sound
piece, 7min 37sec.
Sound installation:
Noise cancelling
headphones, used
photographic negative
film, wooden frame,
wooden 8x10 camera,
sofa, hand written
notes.





絶景のためのスタディ I

2013,

Two channel sound piece,

Sound installation: Noise cancelling headphones, wooden 8x10 camera, sofa, hand written notes.